不八八六	浜工業高	辛畏口子	校 開講年度 令和05年度	(2023年1号) 14	受業科目 1	創造デザイン演習 1	
科目基础		(3 (31 3 3	N 100 12 15 100 12	(2020 1 1)2)	<u> </u>		
科目番号		61002	9	科目区分	専門 / 必修	×	
授業形態				単位の種別と単位数	履修単位:		
3242147127101			学専攻(機械工学コース)	対象学年	専1		
開設期		後期	14-2 (WWWT) 1 2) ()	週時間数	2		
教科書/教	π *	なし		趋时间数			
担当教員	X1/2J	今西 望	9				
	Late						
到達目							
3. 加工	,組み立て	工程に配慮	!に基づいて,要求仕様に,まとめるこ 機構・構造と制御を構想できる :したCAD図面を描くことができる 動)の検証ができる	とができる			
ルーブリ	リック						
			理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの)目安	未到達レベルの目安	
			設計課題を, 学的な論理に基づい			記録調覧を 亜犬仕様に ナレル	
評価項目1			できる。 では、子のな神性に多りできる。 できる。	設計課題を,要求仕様に,まとめ ることができる		設計課題を、要求仕様に、まとめ ることができない 	
評価項目2			仕様(動き)を具現化する機構・ 構造と制御を高いレベルで構想で きる	仕様(動き)を具現化する機構・ 構造と制御を構想できる		仕様(動き)を具現化する機構・ 構造と制御を構想できない	
評価項目3			加工,組み立て工程に配慮した完成度が高いCAD図面を描くことかできる	加工,組み立て工程に配慮した CAD図面を描くことができる		加工,組み立て工程に配慮した CAD図面を描くことができない	
評価項目4			CAEにより、複数の部品について 、合理的に荷重を考え、性能(強度、運動)の検証ができる	CAEにより性能(強度 検証ができる	(、運動) の	CAEにより性能(強度、運動)の 検証ができない	
学科の	到達目標	項目との	関係				
		深決能力 (C)				
教育方法	去等	-					
概要		与えら	れた設計課題に対して,要求される性能機構と制御を構想し,3次元CADで製図	能と制約条件を満足する説 AL CALTAIRE PARTS	3計仕様をまる ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	とめる. さらに, 仕様の動きを具現	
		基本的	には演習科目であるから、与えられた				
授業の進	め方・方法	: また、	演習科目であるから30時間の授業を打	は日課題に沿った作品です 寺って1単位とし、自学自	ームを作う 目習時間を活用	C分担し作成している。 用してCAD製図やCAEを仕上げて最	
	め方・方法	また、 終報告 成績評	演習科目であるから30時間の授業を打書を完成・提出すること。 価は,提出する2次元図面を50%,設計	寺って1単位とし、自学自 報告書を50%で評価する	目習時間を活用 	Cが担い作成している。 用してCAD製図やCAEを仕上げて最	
注意点		また、 終報告 成績評	演習科目であるから30時間の授業を打 書を完成・提出すること。	寺って1単位とし、自学自 報告書を50%で評価する	目習時間を活用 	Cが担い作成している。 用してCAD製図やCAEを仕上げて最	
注意点	の区分	また、 終報告 成績評 なお、	演習科目であるから30時間の授業を打書を完成・提出すること。 書を完成・提出すること。 価は,提出する2次元図面を50%,設計 授業の欠席回数が1/4を超えた場合は原	寺って1単位とし、自学自 報告書を50%で評価する	目習時間を活用 	Cが担い作成している。 用してCAD製図やCAEを仕上げて最	
注意点	の区分	また、 終報告 成績評	演習科目であるから30時間の授業を打書を完成・提出すること。 書を完成・提出すること。 価は,提出する2次元図面を50%,設計 授業の欠席回数が1/4を超えた場合は原	寺って1単位とし、自学自 報告書を50%で評価する	目習時間を活用 	Cが担い作成している。 用してCAD製図やCAEを仕上げて最	
注意点 本科目の 授業の原	の区分	また、終報告 成績評 なお、	演習科目であるから30時間の授業を打書を完成・提出すること。 書を完成・提出すること。 価は,提出する2次元図面を50%,設計 授業の欠席回数が1/4を超えた場合は原	寺って1単位とし、自学自 報告書を50%で評価する	目習時間を活用 	□ 実務経験のある教員による授	
注意点 本科目の 授業の	の区分 属性・履	また、終報告 成績評 なお、	演習科目であるから30時間の授業を持書を完成・提出すること。 価は、提出する2次元図面を50%,設計 授業の欠席回数が1/4を超えた場合は原 か	寺って1単位とし、自学自報告書を50%で評価する 現則として単位を認定しな	目習時間を活用 	用してCAD製図やCAEを仕上げて最	
注意点 本科目の 授業の	の区分 属性・履 ティブラー:	また、終報告 成績評 なお、	演習科目であるから30時間の授業を持書を完成・提出すること。 価は、提出する2次元図面を50%,設計 授業の欠席回数が1/4を超えた場合は原 か	寺って1単位とし、自学自報告書を50%で評価する 見則として単位を認定しな	目習時間を活用 	用してCAD製図やCAEを仕上げて最	
注意点 本科目(授業の) □ アクラ	の区分 属性・履 ティブラー:	また、終報告 成績評 なお、	演習科目であるから30時間の授業を持書を完成・提出すること。 価は、提出する2次元図面を50%,設計授業の欠席回数が1/4を超えた場合は原分 □ ICT 利用	寺って1単位とし、自学自報告書を50%で評価する 見則として単位を認定しな	目習時間を活斥	用してCAD製図やCAEを仕上げて最 □ 実務経験のある教員による授業	
注意点 本科目(授業の) □ アクラ	の区分 属性・履 ティブラー:	修上の区ニング	演習科目であるから30時間の授業を持書を完成・提出すること。 価は、提出する2次元図面を50%,設計授業の欠席回数が1/4を超えた場合は原分 □ ICT 利用 授業内容	寺って1単位とし、自学自報告書を50%で評価する 現則として単位を認定しな	目習時間を活用 	用してCAD製図やCAEを仕上げて最 □ 実務経験のある教員による授業	
注意点 本科目(授業の) □ アクラ	の区分 属性・履 ティブラー:	また、 終報評、 成おお、 修上の区 ニング 週 1週	演習科目であるから30時間の授業を持書を完成・提出すること。 価は、提出する2次元図面を50%,設計授業の欠席回数が1/4を超えた場合は原分 ICT 利用 授業内容 設計課題の説明	寺って1単位とし、自学自報告書を50%で評価する 限則として単位を認定しな □ 遠隔授業対応 過ご 1	目習時間を活斥	用してCAD製図やCAEを仕上げて最 □ 実務経験のある教員による授業	
注意点 本科目(授業の) □ アクラ	の区分 属性・履 ティブラー:	また、 終報語、 成績評、 修上の区 ニング 週 1週 2週	演習科目であるから30時間の授業を持書を完成・提出すること。 価は、提出する2次元図面を50%,設計授業の欠席回数が1/4を超えた場合は原分 □ ICT 利用 □ ICT 利用 □ 投業内容 □ 設計課題の説明 機械全体の要求仕様と構想	寺って1単位とし、自学自報告書を50%で評価する 限則として単位を認定しな □ 遠隔授業対応 □ 1 2	目習時間を活斥	用してCAD製図やCAEを仕上げて最 □ 実務経験のある教員による授業	
注意点 本科目(授業の) □ アクラ	の区分 属性・履 ティブラー:	また、 終編評、 修上の区 ニング 週 1週 2週 3週	演習科目であるから30時間の授業を計書を完成・提出すること。 価は、提出する2次元図面を50%,設計授業の欠席回数が1/4を超えた場合は原分 □ ICT 利用 授業内容 設計課題の説明 機械全体の要求仕様と構想 ユニットレベルの要求仕様と構想	寺って1単位とし、自学自報告書を50%で評価する 取則として単位を認定しな □ 遠隔授業対応 □ は	目習時間を活斥	用してCAD製図やCAEを仕上げて最 □ 実務経験のある教員による授業	
注意点 本科目(授業の) □ アクラ	の区分 属性・履 ティブラー:	また、 終積評、 修上の区 コング 週 1週 2週 3週 4週	演習科目であるから30時間の授業を計書を完成・提出すること。 価は、提出する2次元図面を50%,設計授業の欠席回数が1/4を超えた場合は原分 □ ICT 利用 授業内容 設計課題の説明 機械全体の要求仕様と構想 ユニットレベルの要求仕様と構想 樹形図作成とCADの進め方計画	寺って1単位とし、自学自報告書を50%で評価する 限則として単位を認定しな □ 遠隔授業対応 □ 2 2 3	目習時間を活斥	用してCAD製図やCAEを仕上げて最 □ 実務経験のある教員による授業	
注意点 本科目(授業の) □ アクラ	の区分 属性・履 ディブラー: 画	また、告終 様子の区 ルグ 週 1週 2週 3週 4週 5週	演習科目であるから30時間の授業を持書を完成・提出すること。 価は、提出する2次元図面を50%,設計授業の欠席回数が1/4を超えた場合は原分 □ ICT 利用 授業内容 設計課題の説明 機械全体の要求仕様と構想 ユニットレベルの要求仕様と構想 樹形図作成とCADの進め方計画 3D-CAD製図	寺って1単位とし、自学自報告書を50%で評価する 預則として単位を認定しな □ 遠隔授業対応 □ 2 2 3 3	目習時間を活斥	用してCAD製図やCAEを仕上げて最 □ 実務経験のある教員による授業	
注意点 本科目(授業の) □ アクラ	の区分 属性・履 ディブラー: 画	また、 終積評、 修上の区 3週 4週 3週 6週	演習科目であるから30時間の授業を持書を完成・提出すること。 価は、提出する2次元図面を50%,設計授業の欠席回数が1/4を超えた場合は原分	寺って1単位とし、自学自報告書を50%で評価する	目習時間を活斥	用してCAD製図やCAEを仕上げて最 □ 実務経験のある教員による授業	
注意点 本科目(授業の) □ アクラ	の区分 属性・履 ディブラー: 画	また、告 成な 修上の区 ニング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週	演習科目であるから30時間の授業を計畫を完成・提出すること。 価は、提出する2次元図面を50%,設計授業の欠席回数が1/4を超えた場合は原分	専って1単位とし、自学自報告書を50%で評価する 限則として単位を認定しな □ 遠隔授業対応 1 2 2 3 3 3 3	目習時間を活斥	用してCAD製図やCAEを仕上げて最 □ 実務経験のある教員による授業	
注意点 本科目(授業の) □ アクラ	の区分 属性・履 ディブラー: 画	また、告 終績計、 修上グ 週 1週週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週	演習科目であるから30時間の授業を計畫を完成・提出すること。 価は、提出する2次元図面を50%,設計授業の欠席回数が1/4を超えた場合は原分 □ ICT 利用 「授業内容 設計課題の説明 機械全体の要求仕様と構想 ユニットレベルの要求仕様と構想	青って1単位とし、自学自報告書を50%で評価する 限則として単位を認定しな □ 遠隔授業対応 □ 2 2 3 3 3 3 3	目習時間を活斥	用してCAD製図やCAEを仕上げて最 □ 実務経験のある教員による授業	
注意点 本科目の 授業の原 フクラ 授業計[の区分 属性・履 ディブラー: 画	また、告 終績計、 修上の 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週	演習科目であるから30時間の授業を計書を完成・提出すること。 価は、提出する2次元図面を50%,設計授業の欠席回数が1/4を超えた場合は原分 ロース	寺って1単位とし、自学自報告書を50%で評価する 取出として単位を認定しな □ 遠隔授業対応 □ 2 2 2 3 3 3 3 3 3	目習時間を活斥 :い.	用してCAD製図やCAEを仕上げて最 □ 実務経験のある教員による授業	
注意点 本科目の 授業の原 フクラ	の区分 属性・履 ディブラー: 画	また、告 終績計、 修上グ 週 1週週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週	演習科目であるから30時間の授業を計畫を完成・提出すること。 価は、提出する2次元図面を50%,設計授業の欠席回数が1/4を超えた場合は原分 □ ICT 利用 授業内容 設計課題の説明 機械全体の要求仕様と構想 ユニットレベルの要求仕様と構想 樹形図作成とCADの進め方計画 3D-CAD製図	青って1単位とし、自学自報告書を50%で評価する 限則として単位を認定しな □ 遠隔授業対応 □ 2 2 3 3 3 3 3	目習時間を活斥 :い.	用してCAD製図やCAEを仕上げて最 □ 実務経験のある教員による授業	
注意点 本科目の 授業の原 フクラ	の区分 属性・履 ディブラー: 画	また、告 終績計、 修上の 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週	演習科目であるから30時間の授業を計書を完成・提出すること。 価は、提出する2次元図面を50%,設計授業の欠席回数が1/4を超えた場合は原分 ロース	寺って1単位とし、自学自報告書を50%で評価する 取出として単位を認定しな □ 遠隔授業対応 □ 2 2 2 3 3 3 3 3 3	目習時間を活斥 :い.	用してCAD製図やCAEを仕上げて最 □ 実務経験のある教員による授業	
注意点 本科目の 授業の原 フクラ	の区分 属性・履 ティブラー: 画 3rdQ	また、告評、 修上グ 過 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週	演習科目であるから30時間の授業を計畫を完成・提出すること。 価は、提出する2次元図面を50%,設計授業の欠席回数が1/4を超えた場合は原分 □ ICT 利用 授業内容 設計課題の説明 機械全体の要求仕様と構想 ユニットレベルの要求仕様と構想 樹形図作成とCADの進め方計画 3D-CAD製図	青って1単位とし、自学自報告書を50%で評価する 限則として単位を認定しな □ 遠隔授業対応 □ 2 2 2 3 3 3 3 3 3 3	目習時間を活斥 :い.	用してCAD製図やCAEを仕上げて最 □ 実務経験のある教員による授業	
注意点 本科目の 授業の原 フクラ	の区分 属性・履 ディブラー: 画	また、告報課、 修上グ 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 90 10週 11週	演習科目であるから30時間の授業を計書を完成・提出すること。 価は、提出する2次元図面を50%,設計授業の欠席回数が1/4を超えた場合は原分 □ ICT 利用 授業内容 設計課題の説明 機械全体の要求仕様と構想 ユニットレベルの要求仕様と構想 樹形図作成とCADの進め方計画 3D-CAD製図	青って1単位とし、自学自報告書を50%で評価する 限則として単位を認定しな □ 遠隔授業対応 □ 2 2 2 3 3 3 3 3 3 4	目習時間を活斥 :い.	用してCAD製図やCAEを仕上げて最 □ 実務経験のある教員による授業	
注意点 本科目の 授業の原 フクラ	の区分 属性・履 ティブラー: 画 3rdQ	また、 終横評、 修上グ 週間週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週	演習科目であるから30時間の授業を持書を完成・提出すること。 価は、提出する2次元図面を50%,設計授業の欠席回数が1/4を超えた場合は原分 □ ICT 利用 授業内容 設計課題の説明 機械全体の要求仕様と構想 ユニットレベルの要求仕様と構想 効形図作成とCADの進め方計画 3D-CAD製図	青って1単位とし、自学自報告書を50%で評価する 限別として単位を認定しな □ 遠隔授業対応 □ 2 2 3 3 3 3 3 3 4 4	目習時間を活斥 :い.	用してCAD製図やCAEを仕上げて最 □ 実務経験のある教員による授業	
注意点 本科目の 授業の原 フクラ 授業計[の区分 属性・履 ティブラー: 画 3rdQ	修上グ 修上グ 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 11週 12週 13週	演習科目であるから30時間の授業を計書を完成・提出すること。 価は、提出する2次元図面を50%,設計授業の欠席回数が1/4を超えた場合は原分	青って1単位とし、自学自報告書を50%で評価する 限則として単位を認定しな □ 遠隔授業対応 □ 2 2 3 3 3 3 3 4 4 4 4	目習時間を活斥 :い.	用してCAD製図やCAEを仕上げて最 □ 実務経験のある教員による授業	
注意点 本科目の 授業の原 フクラ 授業計[の区分 属性・履 ティブラー: 画 3rdQ	修上グ 修上グ 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 6週 7週 8週 10週 11週 11週 11週 11週 11週 11週 11	演習科目であるから30時間の授業を計書を完成・提出すること。 価は、提出する2次元図面を50%,設計授業の欠席回数が1/4を超えた場合は原分	青って1単位とし、自学自報告書を50%で評価する 報告書を50%で評価する 現則として単位を認定しな 週ご 1 2 2 3 3 3 3 3 3 4 4 4 4 4	目習時間を活斥 :い.	用してCAD製図やCAEを仕上げて最 □ 実務経験のある教員による授業	
注意点 本科目の 授業の原 でクラー 授業計画	の区分 属性・履 ティブラー: 画 3rdQ 4thQ	F	演習科目であるから30時間の授業を計書を完成・提出すること。 価は、提出する2次元図面を50%,設計授業の欠席回数が1/4を超えた場合は原分	青って1単位とし、自学自報告書を50%で評価する 限則として単位を認定しな □ 遠隔授業対応 □ 2 2 3 3 3 3 3 4 4 4 4	目習時間を活斥 :い.	用してCAD製図やCAEを仕上げて最 □ 実務経験のある教員による授業	
注意点 本科目の 授業計 で 後期	の区分 属性・履 ティブラー: 画 3rdQ 4thQ	Factor Factor	演習科目であるから30時間の授業を計書を完成・提出すること。 価は、提出する2次元図面を50%,設計授業の欠席回数が1/4を超えた場合は原分	青って1単位とし、自学自報告書を50%で評価する。 報告書を50%で評価する。 別として単位を認定しな 週ご 1 2 2 3 3 3 3 3 4 4 4 4 4 4	目習時間を活斥 :い.	用してCAD製図やCAEを仕上げて最 □ 実務経験のある教員による授業	
注意点 本科目の ファクラ 選業計 後期	の区分 属性・履 ディブラー: 画 3rdQ 4thQ	F	演習科目であるから30時間の授業を計書を完成・提出すること。 価は、提出する2次元図面を50%,設計授業の欠席回数が1/4を超えた場合は原分	青って1単位とし、自学自報告書を50%で評価する。 報告書を50%で評価する。 別として単位を認定しな 週ご 1 2 2 3 3 3 3 3 4 4 4 4 4 4	目習時間を活斥 :い.	用してCAD製図やCAEを仕上げて最 □ 実務経験のある教員による授業	
注意点 本科目の ファクラ 選業計 後期	の区分 属性・履 ディブラー: 画 3rdQ 4thQ	Factor Factor	演習科目であるから30時間の授業を持書を完成・提出すること。 価は、提出する2次元図面を50%,設計授業の欠席回数が1/4を超えた場合は原分	青って1単位とし、自学自報告書を50%で評価する。 報告書を50%で評価する。 別として単位を認定しな 週ご 1 2 2 3 3 3 3 3 4 4 4 4 4 4	目習時間を活斥 :い.	目してCAD製図やCAEを仕上げて最 □ 実務経験のある教員による授業 到達レベル 授業週	
注意点本科目の原理を表現である。	の区分 属性・履 ティブラー: 画 3rdQ	Factor Factor	演習科目であるから30時間の授業を計書を完成・提出すること。 価は、提出する2次元図面を50%,設計授業の欠席回数が1/4を超えた場合は原分	青って1単位とし、自学自報告書を50%で評価する。 報告書を50%で評価する。 現別として単位を認定しな 週ご 1 2 2 2 3 3 3 3 3 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	目習時間を活斥 :い.	目してCAD製図やCAEを仕上げて最 □ 実務経験のある教員による授業 到達レベル 授業週 合計	
注意点を担じています。 注意点を担じています をおいま をおいま できま はいま できま かいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま かい	の区分 属性・履 ディブラー: 画 3rdQ	Factor Factor	演習科目であるから30時間の授業を持書を完成・提出すること。 価は、提出する2次元図面を50%,設計授業の欠席回数が1/4を超えた場合は原分	青って1単位とし、自学自報告書を50%で評価する。 報告書を50%で評価する。 現別として単位を認定しな 週ご 1 2 2 3 3 3 3 3 3 4 4 4 4 4 4 4 1 1 1 1	目習時間を活斥 :い.	□ 実務経験のある教員による授業 □ 実務経験のある教員による授業 □ 対達レベル 授業週 □ 合計 □ 100	
注意点 本科目の 授業の原 でクラー 授業計画	の区分 属性・履 ディブラー: 画 3rdQ 4thQ	Factor Factor	演習科目であるから30時間の授業を計書を完成・提出すること。 価は、提出する2次元図面を50%,設計授業の欠席回数が1/4を超えた場合は原分	青って1単位とし、自学自報告書を50%で評価する。 報告書を50%で評価する。 現別として単位を認定しな 週ご 1 2 2 2 3 3 3 3 3 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	目習時間を活斥 :い.	目してCAD製図やCAEを仕上げて最 □ 実務経験のある教員による授業 到達レベル 授業週 合計	